

## 【事業所職員向け】放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			国や県が提示している、施設の面積や広さは確保できている。支援中声かけにて児童の間隔等気にかけている
	②	職員の配置数は適切であるか	7			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	5	1	1	今通っている児童へ対しては概ね問題なく生活できる様になっている。車椅子、バギーの乗り入れは難しい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1		都度改善点があればミーティングなどを通して行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			面談やアンケートを通して保護者様のご意見を業務に反映できる様工夫している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1		実地指導等で指摘のあったことはすぐに業務に反映させ業務改善に図っている。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			zoom等のセミナーや研修を通して、知識や技術を身につけられるようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			職員間で児童を見る視点が様々であるため（理学療法士、保育士、元教員など）、全員でミーティング等行いアセスメント→計画と多様な目線から行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			全員で月に一度話し合い、プログラムの難易度や目的等について話し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7			同上。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	6	1		長期休暇では、昼食等の時間も児童に支援を行えるタイミングであるためお箸の使い方やマナーなどタイミング、場面に応じた支援を設定している。
	⑭	子ども状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2		こちらも職員全員の視点で意見を反映させ行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		朝の時間帯や、送迎前に行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4	3		翌日の朝に、ケース記録を職員全員で行い話し合っている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			同上。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			保護者様とも面談を行い、継続する目標は継続し、見直すところはしっかりと見直しを行なっている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	2		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との通	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	7			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			送迎時に先生方と状況や状態をお話して支援等にも取り入れる様にしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	1	現在は該当児童なし。今後何かあれば検討していく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	6		各相談員からの情報や保護者様からの情報をもとに相互理解に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3		現在該当児童なし。 今後児童が大きくなり卒業のタイミング等になってきた際に施設側としてアドバイスできるよう情報収集に努めていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	1	専門機関との連携や研修は今後も積極的に参加し実行していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3		コロナ等の状況をしっかりと把握しながら活動の機会を設けていく。

連携	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	2	1	今後はより積極的に参加機会を増やしていく。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			今後も送迎の時間にお顔を合わせることを大切にしながら日々の状況や親御様の悩み等お話しし共有できるようにしていく。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3		親御様の悩みに合わせて、今後も適切な回答ができるよう職員全体の知識の向上を目指していく。
保護者への説明責任等	㉓	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	㉔	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		㉒と同内容になってしまうが、今後も親御様の悩みに合わせて、適切な回答ができるよう職員全体の知識の向上を目指していく。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	4	コロナ情勢によってしまうが、社会の状況を考慮しながら開催を検討していく。
	㉖	子どもの保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		苦情があった際は、真摯に受け止め業務改善とともに、迅速に対応していく。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			今後は会報作成を検討しよりわかりやすく、見やすく作成し案内していきたいと考えている。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	7			取り扱いには注意している。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	7			
非常時等の対応	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	4	企画はあったものの、コロナの影響で実施できなくなってしまっていた。
	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		職員間では共有できているが、保護者様にも見える化できるようにしていきたいと考えている。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		地区の消防本部と連携し避難くれんや指導を受けている。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		半期に一回職員全体で研修機会を設けている。
	㉞	そのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2		もし身体拘束を必要とする場合等は、児童に危険がある場合に限り行うと保護者様にはお伝えしている。またその様な事が起こらないよう、日々の職員の立ち回りや支援方法など徹底してミーティングで話し合いを行なっている。
	㉟	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3		現在、医療的な指導が必要であるほど強くアレルギーのある児童に対しての食事提供はない。
	㊱	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		毎月、担当を決めて多様な視点から事故を防ぐために事例集を作成している。